

令和 5 年 5 月 20 日現在

機関番号：22604

研究種目：若手研究

研究期間：2018～2022

課題番号：18K13196

研究課題名（和文）国際的で学際的な学士課程教育に関する国際比較研究

研究課題名（英文）International comparative research on international and interdisciplinary undergraduate education

研究代表者

嶋内 佐絵（SHIMAUCHI, SAE）

東京都立大学・国際センター・准教授

研究者番号：80727107

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,900,000円

研究成果の概要（和文）：日本・韓国・オランダ・タイにおける国際的かつ学際的な学士課程プログラムに焦点を当て、各国高等教育における「国際化」および「学際性」がそれぞれの社会的コンテキストでどのような意味を持っているかを政策・高等教育機関における戦略・教員・学生等個人レベルにおける認識・活動等の教育社会学的分析を通じて明らかにした。その研究成果は、書籍（編者書1冊、分担執筆2冊）、研究論文5本（うち英文3本、和文2本）、学会発表6回（すべて国際学会）の形で発表した。

研究成果の学術的意義や社会的意義

多国間（日本・韓国・オランダ・タイ）の比較分析と批判的検討を通して、それぞれの地域や国、大学が抱える問題のなかでどのような共通の課題があり、また違いが何から生まれてくるのかを検討し、日本の高等教育政策を比較の視点から見る視座を提供した。また、グローバル市民育成機関としての高等教育の「国際化」を、グローバルなレベルでの大学間競争や地域内留学生移動の活性化、地域的教育政策、アカデミックな分野での英語の覇権や教授媒介言語の英語化など、ナショナルな要因だけでなく、グローバルな要因や地域的（リージョナル）な影響、西洋英語圏を中心としたアカデミックパラダイムからの視点から議論をおこなった。

研究成果の概要（英文）：Focusing on international and interdisciplinary bachelor programmes in Japan, South Korea, the Netherlands and Thailand, the study revealed the meanings of 'internationalisation' and 'interdisciplinarity' in higher education in each country in their respective social contexts through a sociological analysis of policies, strategies in higher education institutions, perceptions at the individual level such as faculty and students and activities. The results of this research were based on a sociological analysis of the sociology of education, including policies, strategies of higher education institutions, perceptions at the individual level such as teachers and students, and activities. The research results were published in the form of (1) a book (one edited book and two contributed books), (2) five research papers (including three in English and two in Japanese) and six conference presentations (all at international conferences).

研究分野：教育社会学

キーワード：学士課程教育 国際化 学際化 英語プログラム ユニバーシティカレッジ 比較教育 オランダ 韓国

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

1. 研究開始当初の背景

本申請者によるこれまでの研究では、日本と韓国を中心とした高等教育における英語を教育媒介言語とした学位プログラムの研究をするなかで、留学生移動や言語使用、「アジア人意識」形成などをテーマに検証分析してきた。そのなかで、英語による教育（教育の英語化）、海外留学必須、外国人留学生の受け入れ、外国人教員の積極的配置などを例とする国際的な側面と、一定の専門分野に特化せず、カリキュラムの学際性を特徴としてあげるリベラルアーツなどの学士課程教育が世界的に増加している現象が明らかになった。

Altbach(2016)は、近年高等教育においてリベラルアーツが世界的な復活を遂げた背景には、職業に関連した知識や、批判的思考力・コミュニケーション能力といったソフトスキルの必要性への認識が上がってきたこと、新しい知識経済社会において専門化されたカリキュラムでは不十分であり、学際的な知識が必要であるという意見が強まっていることなどを挙げた。このような学際性を持った教育カリキュラムは、教育の英語化やトランスナショナル教育など高等教育の国際化との強い結合とともに各国の大学のなかで台頭し、教養主義と専門主義・実用主義との相克、高等教育の大衆化、人文系学問の軽視など、様々な課題を抱える世界各国の学士課程教育にもたらされた、新たな挑戦である。

世界における国境を超えた学生の移動が加速する一方で、未だ大多数の学生は留学という選択をせず(できず)に国内の大学で学んでいるなかで、学士課程における国際的かつ学際的な教育プログラムは、本質的にその教育カリキュラムで学ぶ学生に国際的な経験の機会が与えられ、国境を越えた学生の移動を可能にする国際的拠点ともなっているという点で、「内なる国際化」(Internationalization at home)(Knight 2004)の急先鋒でもある。

国際・学際的な学士課程教育は、日本における国際教養学部、韓国における国際学部やオランダのユニバーシティカレッジのように、各国それぞれの特徴を持った形で展開と拡大を続けており、共通項として国際的視野に基づいた教育内容やカリキュラム、外国人留学生を始めとした多様な背景を持った学生の受け入れと柔軟な入学試験制度、教育の英語化や自国の地域研究の活性化など、多様な側面を持つ。一方で、それらの国際的な特色は決して一様ではなく、教育課程における学術分野の包有と展開＝学際性の範囲においても、各国・各高等教育機関をめぐる様々な社会的要因によって、多様で異なった深度が見られる。このような教育プログラムの国際性・学際性の分析をする上では、グローバルなレベルでの大学間競争や、留学生移動の地域化や地域的高等教育政策といったリージョナルな要因、各国の教育政策などのナショナルな要因だけでなく、学術研究における英語の覇権的状況や教育の英語化など、英語圏を中心としたアカデミックパラダイムからの視点も重要である。

2. 研究の目的

本研究の学術的な問いは、大学と大学をめぐる社会・国家において、高等教育国際化における新展開としての国際的かつ学際的な教育課程がどのような実相を持つのか、その中で育成される人材がどのようなものなのか、そしてそこに高等教育をめぐるグローバル・リージョナル・ナショナルな要因がどのように関連し、教育がどのような志向性を持つのかというものである。これらに答えることで、世界の高等教育において深化する国際・学際的な教育の現状と課題を、国際比較の視点から、帰納的かつ実証的に探索する。

本研究の目的は、世界4カ国における国際的で学際的な学士課程教育の全貌とその多様で複層

的な志向性を、様々なデータの質的分析を通して明らかにすることである。具体的には以下の通りである。

国際的で学際的な学士課程教育へのマクロからミクロな視点

本研究では、国際的で学際的な学士課程教育の世界的な拡大を、高等教育国際化関連の様々な文献を通して論じ、また4カ国におけるリベラルアーツ/教養教育の歴史的展開との関連や高等教育政策から検討し、国際・学際的教育に関するデータを網羅的に収集するなど、マクロな視点から国レベルでの全容を提示する。さらに、事例研究を通して各国の大学における理念および実践上の特徴と課題を明らかにし、ミクロな視点からの検証も行う。

地域間、国家間および大学間における比較分析

日本・韓国・タイ・オランダという国家間の比較だけでなく、東南アジアと北東アジア、アジアと欧州という高等教育をめぐる地域的コンテクストの比較や、各国内において重点化によって国家資金を集めるエリート大学と、多様な学生を受け入れる私学を中心とした大衆的な大学との大学間比較など、複層的な比較の視点を含む。

各国の国際教育実践や高等教育研究、政策立案への汎用性と波及性

本研究で日本以外の事例として選んだ3ヶ国（韓国・タイ・オランダ）は、各地域の中でも国際化と学士課程教育の学際化の進展した国であり、非英語圏で、各国の言語による知的蓄積を持ち、地域的な留学生移動のハブにもなっていることから、日本の高等教育戦略や実践に大きな示唆を与えることが可能である。国際比較研究は、各地域や国、大学が抱える問題のなかでどのような共通の課題があり、またどのような差異が生まれてくるのかを検討することで、高等教育の国際化に関連する政策立案への貢献も考えられる。また極めて新しい取り組みの一つであり、今後も世界的に拡大しつつける国際・学際的なプログラムの国際比較研究は、国内の高等教育研究者や大学関係者のみならず、海外のオーディエンスにも高い関心を集めると予想される。

3. 研究の方法

研究手法と手順は、以下の通りである。

1. 各国における国際化・学際化に関連する文献調査および分析枠組の整理
4カ国に関する先行研究および政策文書や社会的議論などを中心とした文献研究
2. 各国レベルでの全大学調査を通じた全容の可視化と類型化 日本・韓国・タイ・オランダの各国で、全（研究）大学（専門大学、短期大学などを除く）における国際・学際的な学士課程教育プログラムのリストを作成し、各大学ウェブサイト等から教育の目的・内容・手法に関するデータ（カリキュラム、教育内容・方法、人材育成ビジョン、ディプロマポリシー等）から取得し、テキストを批判的言説分析の手法で質的に考察し、前述の分析枠組を用いながら類型化等を通じて整理を行う。
3. 各国における事例研究（3-4大学）全容調査の結果から、プログラムの典型性・特殊性等に注目して事例大学を選出し、訪問調査と教職員へのインタビューを通じて、カリキュラムや教育における目的・内容・手法の特徴や課題などに加え、組織と接続の側面も含めた質的分析と議論を行う。
4. 比較分析と総括議論 これまでの研究成果を総括し、国際的で学際的な学士課程教育の特徴や志向性は、大学間・国家間・地域間でどのような差異が見られるのか、必要に応じて1-3のフローを精査し、フォローアップ調査を行いつつ、比較の視点から論じる。

4 . 研究成果

【論文】

1. 米澤彰純・嶋内佐絵・吉田文編著 (2022)『学士課程教育のグローバル・スタディーズ ―― 国際的視野への転換を展望する』明石書店
- 嶋内佐絵、ドン・ウェスターハイデン、ヨリト・スナイデル「ユニバーシティカレッジの国際化革命―オランダ」第2章
- 嶋内佐絵、金良善「英語重視の大学教育の帰結―韓国」第3章
2. 嶋内佐絵 (2022)「崎山直樹・二宮祐・渡邊浩一 (2022)『現場の大学論 大学改革を超えて未来を拓くために』ナカニシヤ書店、第1章「大学『国際化』の二面性 留学生移動を教育における言語に注目して」
3. Shimauchi, S. (2021). What International Students mean for Japanese higher education: Inbound mobility at “elite” and “mass” universities, Snowden, P. (Ed.). *Handbook of Higher Education in Japan*. Japan Documents.
4. Yonezawa, A., & Shimauchi, S. (2023). Gaining International Perspectives Through Undergraduate Education: Comparative Case Analysis Focusing on International Liberal Arts Provision. In *The Reinvention of Liberal Learning Around the Globe* (pp. 31-52). Singapore: Springer Nature Singapore.
5. Yonezawa, A., Shimauchi, S., & Liu, J. (2023). Transformation of university missions—from nation-building to a focus on common global challenges reflections from East Asia, under the risk of being “lost in translation”, *International Encyclopedia of Education*(Fourth Edition), 21-28.
6. 嶋内佐絵 (2023)「言葉をまたいで書くという政治的で文化的な営みについて」『国際学報』2022、vol.1, pp. 61-68, 東京都立大学国際センター
7. Sakurai, Y., Shimauchi, S., Shimmi, Y., Amaki, Y., Hanada, S., & Elliot, D. L. (2021). Competing meanings of international experiences for early-career researchers: a collaborative autoethnographic approach. *Higher Education Research & Development*, 1-15.
8. 嶋内佐絵. (2021). 韓国における「国際」的で「学際」的な学士課程の展開. *大学論集*, 53, 85-101.
9. Shimauchi, S., & Kim, Y. (2020). The influence of internationalization policy on master’s education in Japan: A comparison of “super global” and mass-market universities. *Higher Education Policy*, 33(4), 689-709.

【招待講演、FD等】

10. Akiyoshi Yonezawa and Sae Shimauchi "Gaining International Perspectives through Undergraduate Education: Comparative Case Analysis focusing on International Liberal Arts Provision", Centre for Global Higher Education, University of Oxford (19 Jan 2023)
<https://talks.ox.ac.uk/talks/id/d6233f14-7fdd-4bce-9b34-317f69c0ee32/>
11. 嶋内佐絵 (2023)「言葉をまたいで書くという政治的で文化的な営みについて」第三回日中若手研究者フォーラム (日中国交正常化 50 周年を記念して)『新時代に向けた国際日本学研究―理論と方法』(2022年9月24日～25日)復旦大学日本研究センター
12. 嶋内佐絵「大学の『国際化』の教育社会学的検証 学際化・英語化に注目して」九州大学国際センターFD講演 (2020年1月30日)九州大学留学生センター紀要

【学会発表】

13. Kazuaki Iwabuchi and Sae Shimauchi, (2023) , Inter-Asian Perceptions of Studying “Abroad”, APAIE, Bangkok, March 16 2023.
14. Yusuke Sakurai and Sae Shimauchi (2022), Competing meanings of international experiences for early-career educational researchers, Thematic Panel Session 3, The 81st Annual Conference of Japanese Educational Research Association, Hiroshima University, 27 August, 2022.
15. YONEZAWA Akiyoshi, WESTERHEIJDEN Don, SNIJDER Jorrit and SHIMAUCHI, Sae, Transformation of Undergraduate Education under Globalisation – A reflection on the Global Studies in higher education-, Consortium of Higher Education Researchers 2019 (CHER 2019), Kassel, Germany, 29 September, 2019.
16. SHIMAUCHI, Sae and KIM, Yangson. “Dynamism of Internationalization of Master’s Education in Japan”, World Education Research Association 2019 (WERA 2019), Japan, 8 August 2019.
17. SAKURAI Yusuke, SHMAUCHI Sae, HANADA Shingo, AMAKI Yuki and SHIMMI Yukiko, Preliminary findings on the meaning of global mobility experience for the career development of early-career researchers: Autoethnographic approach, World Education Research Association 2019 (WERA 2019), Japan, 8 August 2019.
18. SHIMAUCHI, Sae and KIM, Yangson. “Dynamism of Internationalization of Master’s Education in Japan”, CIES (Comparative International Education Society) 2019, San Francisco, The United States, April 2019.
19. SHIMAUCHI, Sae, “*Comparative Studies of International and Interdisciplinary Undergraduate Programs in Japan, South Korea and the Netherlands*”, XXVII Conference of Comparative Education Society in Europe, Cyprus, May 2018.

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計4件（うち査読付論文 4件/うち国際共著 2件/うちオープンアクセス 3件）

1. 著者名 Yusuke Sakurai, Sae Shimauchi, Yukiko Shimmi, Yuki Amaki, Shingo Hanada & Dely Lazarte Elliot	4. 巻 21Dec2021
2. 論文標題 Competing meanings of international experiences for early-career researchers: a collaborative autoethnographic approach	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Higher Education Research & Development	6. 最初と最後の頁 1-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1080/07294360.2021.2014410	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 Sae Shimauchi, Yangson Kim	4. 巻 33
2. 論文標題 “ The Influence of Internationalization Policy on Master ’ s Education in Japan: A Comparison of “ Super Global ” and Mass-Market Universities ” ,	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Higher Education Policy	6. 最初と最後の頁 689-709
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.1057/s41307-020-00204-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 該当する
1. 著者名 嶋内佐絵	4. 巻 53
2. 論文標題 「韓国における「国際」的で「学際」的な学士課程の展開」	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 『大学論集』広島大学高等教育研究開発センター	6. 最初と最後の頁 85-102
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） 10.15027/50768	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている（また、その予定である）	国際共著 -
1. 著者名 米澤彰純・嶋内佐絵・劉靖	4. 巻 86 (2)
2. 論文標題 「東アジアにおける「大学」概念の形成と変容 機能としてのトランスレーションに注目して」	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 「東アジアにおける「大学」概念の形成と変容 機能としてのトランスレーションに注目して」	6. 最初と最後の頁 225-236
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計6件（うち招待講演 0件 / うち国際学会 6件）

1. 発表者名 YONEZAWA Akiyoshi, WESTERHEIJDEN Don, SNIJDER Jorrit and SHIMAUCHI, Sae
2. 発表標題 Transformation of Undergraduate Education under Globalisation; A reflection on the Global Studies in higher education-
3. 学会等名 Consortium of Higher Education Researchers (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 SHIMAUCHI, Sae and KIM, Yangson
2. 発表標題 Dynamism of Internationalization of Master 's Education in Japan
3. 学会等名 World Education Research Association (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 SAKURAI Yusuke, SHIMAUCHI Sae, HANADA Shingo, AMAKI Yuki and SHIMMI Yukiko
2. 発表標題 Preliminary findings on the meaning of global mobility experience for the career development of early-career researchers: Autoethnographic approach
3. 学会等名 World Education Research Association (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 SHIMAUCHI, Sae and KIM, Yangson
2. 発表標題 Dynamism of Internationalization of Master 's Education in Japan
3. 学会等名 Comparative International Education Society (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 SHIMAUCHI, Sae
2. 発表標題 “Comparative Studies of International and Interdisciplinary Undergraduate Programs in Japan, South Korea and the Netherlands”
3. 学会等名 XXVII Conference of Comparative Education Society in Europe (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 SHIMAUCHI, Sae
2. 発表標題 “Comparative Studies of International and Interdisciplinary Undergraduate Programs in Japanese and Korean Higher Education”
3. 学会等名 11th Biennial Conference of Comparative Education Society of Asia (国際学会)
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------